

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(6/12)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに先端医療総合特区 (静岡県)	正	3.7	3.4 進捗度 ・その他医療関連製品の開発 80% ・医療機器生産金額(県内) 77% 等	3.8 規制の特例等 ・製品切替え時期に関する一部変更承認等における規制緩和について 財政支援等 ・地域イノベーション戦略支援プログラム 等 地域独自の取組 ・沼津高専専攻科「医療福祉機器開発工学コース」の開設 等	3.8	<p>・全体として着実に事業が進捗しており、今後の成果達成の蓋然性も高いものと評価できる。</p> <p>・拠点整備の充実が図られており、支援の多面的な展開を通じて、県内外のさまざまなステークホルダーの協働体制、基礎データが構築され、成果が出始めている。特に、静岡がんセンター及びファルマバレーセンターを中心に、地元中小企業や他産業に従事していた企業の参入を促すシステムが構築された点は評価できる。</p> <p>・今後は、実用化、商品化への支援が必要である。臨床研究等で静岡県東部地域以外の医療機関、経済界の協力をあおぐなど全県的な取組をより推進していくことが、地域の経済基盤の確立のために重要だと思われる。また、地域独自の支援の継続と企業の自立、規制緩和に何を求めるかの「見える化」が求められる。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。